

第2回徳之島ごと さくらねこTNRプロジェクト



さくらねこ無料不妊手術事業

2015年1月25日～31日

申請者:徳之島3町(天城町・伊仙町・徳之島町)

第一回H26/11/15～22	5 3 7 匹
第二回H27/1/25～31	6 4 1 匹
合計	1 1 7 8 匹

はじめに

公益財団法人どうぶつ基金では鹿児島県奄美群島の世界自然遺産登録への取り組みとして、行政と協働して、猫の捕食によるアマミノクロウサギ絶滅の保護措置のために徳之島に生息する全ての猫（推定3000頭）に、さくらねこTNR無料不妊手術を行うことになりました。徳之島は国の特別天然記念物アマミノクロウサギの生息地です。現在、国定公園に指定されていますが近く国立公園に指定される見込みで、2年後までに世界自然遺産登録を目指しています。しかし、その根拠であるアマミノクロウサギは徳之島にわずか200羽といわれており環境省レッドリストの絶滅危惧IB類（絶滅危機）に指定されています。

アマミノクロウサギと猫

環境省がアマミノクロウサギの幼獣の生息状況等をモニタリングするために実施しているセンサーカメラによる自動撮影調査において、ノネコがアマミノクロウサギの幼獣を捕食している場面が撮影されました。不妊手術を施さないなどといった不適正な飼養や遺棄により、野生化した犬やねこの一部は繁殖し、野生生物を捕食するようになり、今回のような重大な事態をもたらす結果となってしまったのです。

徳之島ごとさくらねこTNRを行う理由

3000匹の島の猫すべてに不妊手術を施しさくらねこにすることで、管理された猫と人とアマミノクロウサギが共存する島となり、結果、アマミノクロウサギなどの希少動物を守ることにつながり、徳之島は世界一自然に生き物に優しい島となります。



写真：ノラ猫にくわえられたアマミノクロウサギ（写真提供：環境省奄美自然保護官事務所）

手術準備から手術実施への流れ

1月25日(日)	
14:00	手術会場設営
15:30	協働ミーティング
17:00	解散

1月26日(月)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
13:00	昼食
14:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

1月27日(火)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼食
13:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

1月28日(水)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼食
13:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

1月29日(木)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼食
13:00	手術再開17:00
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

1月30日(金)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
10:00	3町 ミーティング
12:00	昼食
13:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

【事業日程及び人員】

	伊仙町	天城町	徳之島町	どうぶつ基金	合計
1月25日	8	15	6	11	40
1月26日	8	15	6	12	41
1月27日	8	15	6	12	41
1月28日	8	15	7	10	40
1月29日	8	15	7	10	40
1月30日	8	15	7	10	40
1月31日	6	15	2	10	33
総数	54	105	41	75	275

手術会場：旧徳之島農業高校跡地

猫の保管：旧徳之島農業高校跡地
旧歴史民俗資料館
天城町クリーンセンター

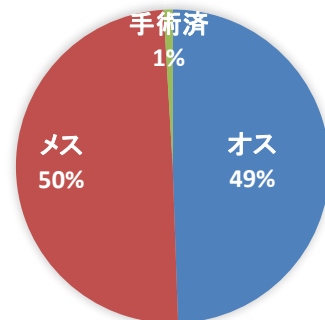
捕獲器

捕獲器所有者	使用台数
どうぶつ基金	162
環境省資材	24
あまみ野生動物	20
合計	206

手術集計

	オス	メス	手術済	合計
1月26日	54	57	4	115
1月27日	69	65	1	135
1月28日	76	68	1	145
1月29日	72	73	0	145
1月30日	46	55	0	101
合計	317	318	6	641

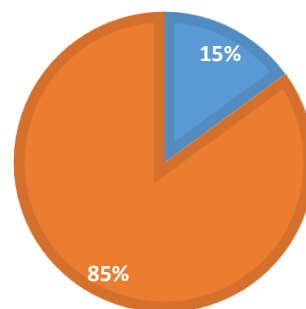
オス・メス・手術済み表



飼い猫ノラ猫の割合

■ 飼い猫 ■ ノラ猫

町名	飼い猫	ノラ猫	手術済	合計
天城町	48	327	4	379
伊仙町	20	124	2	146
徳之島町	23	93	0	116
計	91	544	6	641

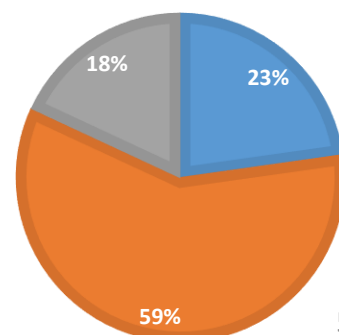


町別猫持ち込み数

天城町	379
伊仙町	146
徳之島町	116
合計	641

町別ねこ持ち込み数

■ 伊仙町 ■ 天城町 ■ 徳之島町



その他の治療

眼球摘出 断脚 縫合 補液 子宮筋腫 子宮蓄膿症 補液
抜歯 ヘルニア その他



膿の洗浄と傷口の縫合



眼球摘出



足の怪我が酷く、膿の洗浄と傷口の縫合



断脚



補液

執刀医



山口武雄獣医師(どうぶつ基金顧問)



日下部獣医師



斎藤獣医師



平野獣医師



大西獣医師



平出獣医師



山本獣医師 ボランティア参加



千田獣医師 ボランティア参加

手術会場 旧徳之島農業高校跡地



徳之島高校農場正門



朝礼の様子



耳カット



受付の様子



ケージ洗い



手術の様子

猫の保管：旧徳之島農業高校跡地 旧歴史民俗資料館
天城町クリーンセンター



手術済の猫たち

手作りのケージに入った猫。
ジャガイモのサンテナを用いリユース可能。



獣医師が猫たちの回復をチェックして、元の場所に返されます。



手作りのハウス猫のたち(天城町)。
移動が可能な猫ハウス。

「さくらねこを知っていますか。

～どうぶつの命と徳之島の自然について考えよう～」



伊仙小学校(全児童156名)



講師

美延治郷(伊仙町役場環境課長)
佐上邦久(どうぶつ基金理事長)



生徒を代表して3名が命の大切さの
感想と感謝の気持ちを述べた。

新 聞
【第3種郵便物認可】

「クロウサギ・猫・ヒト共生を」



「どうぶつ基金」は行政による猫の殺処分ゼロを目指す、2006年から無料TNR（トラップ・捕まえる、ニューター・不妊手術、リターン・もとに戻す）事業を展開。既に1万匹以上に不妊手術を実施。世界自然遺産候補地域の一つ徳之島では「どうぶつ基金」獣医師スタッフによる猫の無料不妊手術（TNR）の第2回事業→26日、伊仙町

第2回無料不妊手術開始

どうぶつ基金と徳之島3町

【徳之島】「猫の殺処分ゼロを目指す」、アマミノクロウサギも猫の命も守ろう。公益財団法人どうぶつ基金（兵庫県芦屋市、佐上邦久理事長）が徳之島3町と共催で昨年11月に着手した「ネコの無料不妊手術事業（TNR）」の第2回活動が26日、伊仙町伊仙の旧徳之島農高施設で始まった。初日だけで飼育猫・野良猫・ノネコ合わせ約265匹が持ち込まれ、うち15匹に施術。30日まで5日間の予定。

初日265匹持込み

昨年11月、3町当局の野良猫・ノネコ捕獲協力も得て第1回を実施、5日間で計537匹に施した。26日からの第2回活動には佐上理事長（54）らどうぶつ基金スタッフと全国各地からのボランティア獣医師8人など12人が自費で来島。ほか、昨年10月に三重県伊賀市の一地域でTNRを初試行したのを縁にプライベートで参加の同員職員3人（獣医2人、職員1人）の姿も。猫の捕獲・搬送や管理などサポートの3町職員やNPO会

ら合わせ約40人が協力している。佐上理事長は「アマミノクロウサギも猫も殺さないですむ、昨年11月の第1回活動の模様は世界中から注目され、感想メールなど天反響があった。身近も「徳之島ではクロウサギの歴史を、私たちの世代で減らすわけにはいかない」。徳之島で計3千匹を目標に来年3月末まで継続してTNRの成功事例。世界のモデル地域にしたい」と同理事長。三重県職員女性（38）同TNR事業の利用環境課。

第3種郵便物認可（月ぎめ購読料1,850円）

奄美新聞

AMAMI-SHIMBUN

©奄美新聞社
1959年(昭和34年)8月5日第三種郵便物認可

1月27日 火曜日

旧暦12月8日 2015年(平成27年)
日刊/第18730号

月ごの購読料1888円(税込のみ) (日刊)

2015年(平成27年)
1月27日(火)
 旧暦12月8日・先勝
 発行所
 日本新聞協会加盟
南海日日新聞社
 〒894-8601
 鹿児島県奄美市名瀬長浜町10番3号
 電話 0997局
 総合・総務局
 53-2121 ファクス 52-2354
 編集局
 53-2127 ファクス 53-6636
 Eメール nanka.inn@synapse.ne.jp
 営業局
 53-2126 ファクス 53-6431
 Eメール nanka.ibronze.ocn.ne.jp
 販売部
 53-2125 ファクス 53-1475
 http://www.nanka.inn.com/
 ©南海日日新聞社 2015年

南海日日新聞

日 新 聞

【第3種郵便物認可】

事業は同島に生息するアマミノクロウサギなど希少な生き物について、野生化した猫ノ

約700匹の施術予定

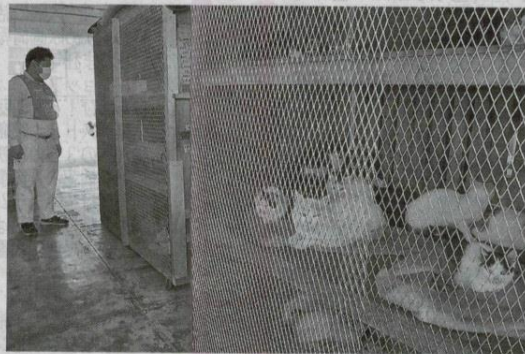
止につなげようと実

良猫と飼う猫合わせて3町計548匹を手術した。15年度末までに全島で3千匹の施術を

今回は獣医師8人を含め同基金のスタッフら12人が来島した。同基金の佐上邦久理事長

【徳之島総局】徳之島3町が公益財団法人どうぶつ基金（兵庫県）と共同で取り組む猫の不妊手術事業が26日、伊仙町の県立徳之島高校伊仙農場（旧徳之島農業高校）で始まった。2014年11月に続いて2回目の試み。30日までの5日間、集落などで捕獲した野良猫や住民の飼い猫など約700匹の施術を予定している。

徳之島3町



猫の不妊手術事業で捕獲された野良猫＝26日、伊仙町

猫の不妊手術始まる

襲われる問題は世界各地で起こっている。殺処分をなくし、猫と野生生物が幸せに暮らせるケーススタディをつくりたい」と述べた。

奄美新聞

AMAMI-SHIMBUN

©奄美新聞社

1959年(昭和34年)8月5日第三種郵便物認可

1月31日 土曜日

旧暦12月12日 2015年(平成27年)

日刊/第18734号

伊仙小で講話

クロウサギも猫も 「今ある命大切に」

どうぶつ基金の佐上理事長

【徳之島】徳之島で「業(TNR)」を展開中「つ基金の佐上邦久理事長」の無料不妊手術」の公益財団法人「どうぶつ基金」が30日、伊仙

小学校(濱崎力雄校長、156人)で講話。アマミノクロウサギなど希少野生生物の脅威となつているノネコや野良猫だが、「さくらねこTNR」で今ある双方の命を守り、仲良く共生していくことの大切さを全児童に説いた。施術済みのしるしに耳先に小さな無痛Vカットを施す「さくらねこTNR」。3町当局が捕獲協力しているノネコや野良ネコ、希望する飼い猫の全てが対象(無料)。昨年11月の第1回に続き旧徳之島農高施設(伊仙)で始まった第2回事業(26日、30日)の最終日。伊仙小と同PTAの要請で、佐上理事長と美延治郷環境課長(58)が訪問した。

美延環境課長は、住民の要請で捕獲して公示(1週間)後、引き取り手のない犬の悲しい運命や、厳しい環境に耐えて「ひっそりと命をつないでいる」希少野生生物の存在などを解説。その存在を脅かしているノネコの問題も映像を交えて説明し、「島の良さを学んで自信と誇りを持ち、次の世代に伝える人になって」とアドバイスした。

佐上理事長は、猫は1回の出産で5〜7匹、それも年3回出産が可能。生まれた子猫も6カ月後には出産可能となり、放置すると1匹の猫が1年後は約50匹に増加。全国で1年間に殺処分される猫は約10万匹(大半が子

TNR事業を実施中の「どうぶつ基金」佐上理事長(右端)らを招いてあった講話。30日、伊仙小

猫、犬が約2万5千匹に上っている現実も紹介した。

その上で「一千万年の歴史があり、1年に1匹しか産めないクロウサギを、私たちの世代でなくしてはいけません。私たちは不幸な猫



がこれ以上増えないよう不妊手術をして、今ある命を大切にしよう」と活動。第3回事業(6年)は「猫を飼うは3月にも予定し、時は、しっかりと手術を受けるなどして、最後まで責任を持って飼うことが大事」と思いまらしていきける「さくらねこの島になります」と話した。

児童の四本莉子さん「猫を飼うは3月にも予定し、時は、しっかりと手術を受けるなどして、最後まで責任を持って飼うことが大事」と思いまらしていきける「さくらねこの島になります」と話した。

徳之島のネコ（飼い猫も！）全部無料不妊手術（TNR）実施中！！

日時：平成 27 年 1 月 26 日（月）～ 30 日（金） 午前 9 時～午後 5 時 まで

場所：徳之島高校伊仙農場（旧徳之島農業高校）

内容：不妊手術・三種混合ワクチン接種・ノミ、ダニ駆除を行います。

※各町役場に事前申し込みが必要です。

※猫は 1 日前より絶食で洗濯ネット（脱走防止）に入れて持ち込んで下さい。

※ 1 月 14 日より野良猫の捕獲作業を開始します。飼い猫は室内に入れておいて下さい。

ボランティアスタッフ募集中！（作業の見学もできます）

1 月 26 日～30 日の内、1 日でも半日でも OK！

ネコの受付、手術後のケアや器具の洗浄などお手伝い（無償で）頂ける方は、各町に申込み会場までお越しください。ご協力、宜しくお願いします。

公益財団法人どうぶつ基金

【主催】

伊仙町環境課

☎ 86-3111

天城町町民生活課

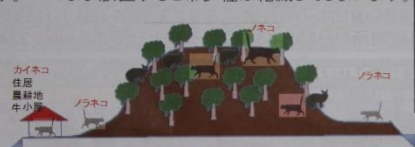
☎ 85-5336

徳之島町住民生活課

☎ 82-1111

希少種の住む島で起きていること

奄美大島・徳之島には、アマミノクロウサギなどここにしか生息しない固有生物が多く、国際的にも重要な地域です。このため、世界自然遺産登録の準備が進められています。しかし、遺棄や管理不十分のネコが野生化し、アマミノクロウサギなどの希少な野生生物を捕食する被害が多発しています。このまま放置すると希少種は絶滅してしまいます。



写真は、アマミノクロウサギの住む森に侵入したノネコによって襲われ死亡したアマミノクロウサギの例

（写真：環境省奄美野生生物保護センター提供）

野生化ネコ（ノネコ）をつくらないために、住民は何をすべきか？

- 責任あるペット所有者になってください。
 - ・ネコ登録をし、責任を持って死ぬまで面倒を見てください。
 - ・常時、十分に餌を与えられているか確認してください。
 - ・外に出てしまうのであれば、避妊・去勢は最低限必ず行い、行動範囲を把握してください。
- 室内飼育をし、適切な世話をしてください。
 - ・室内飼育を原則としてください。特に夜間は室内飼育してください。
 - ・室内飼育のネコは、性格もより穏やかに、健康で長生きします。
 - ・野外での生活は思っている以上に過酷です。どうか、野外に放置しないでください。
 - ・放置すると、やがて、ネコにも餌となる野生動物の両方にとっても残酷な事態になります。
- 野生化ネコの数を減らすことに協力してください。
 - ・野外での餌やり（餌付け）より、むしろ人間社会に連れ戻してください。
 - ・無尽蔵な餌やりは野生化ネコの数を増やすことになります。
- 避妊・去勢をしてください。
 - ・ネコを飼育するなら、野生化ネコになり勝手に繁殖しないように、確実に実施してください。

【USA ハワイの対策 (USGS 2006) の山田文雄訳に伊藤圭子補足】

（山田文雄氏資料より）

「週刊水曜ガイド・春広告」は、徳之島の自然保護活動を応援します。

頭の体操

第 4 週目



1 月 の 問 題

団体 クイズです

Q. この文字を合体させて、2 字熟語を完成させて下さい。

なるべくヒントを見ないで頑張ってね！！

言 木 口 口 十 一

ヒントだよ！！

- ※ 毎日きまってる物事のことだよ
- ※ 毎朝の散歩を〇〇にする等

ハガキ・FAX（持ち込み可）にて、氏名・住所を明記の上、1 月分（4 回分）の回答を記入し、春広告までお送り下さい。正解者の中から抽選で、3 名様の方に記念品を差し上げます。

さくらねこ無料不妊手術事業 第2回徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクト



公益財団法人どうぶつ基金

天城町
伊仙町
徳之島町

NPO法人徳之島虹の会